

【 用 語 集 】

	用 語	解 説
か行	ケミカルリサイクル	リサイクルの一種で、使用済みの資源を化学反応により組成変換をした後にリサイクルすること。廃プラスチックの油化・ガス化や廃食用油等のバイオガス化等をさす。
	高効率発電	ごみの持っている熱量を最大限に活用するため、発電に用いる蒸気をより高温・高圧化し効率を高めたもの。
さ行	サーマルリサイクル	廃棄物の再利用方法のひとつで、廃棄物を焼却する際に発生する熱エネルギーを回収・利用すること。
	ジュール (J)	エネルギー、熱量等の単位。(1cal=4.184J) 国際的な単位としてカロリー (cal) は認められていない。
な行	熱収支	熱エネルギーの出入り(収支)のこと。 外部から受け取る熱や内部で発生する熱(ごみ、補助燃料)と外部へ放出する熱や内部に蓄積される熱のバランスを算定したもの。
は行	物質収支	ごみ処理における物質(ごみ、残渣、金属類、薬品等)の出入り(収支)のこと。
ら行	リサイクルセンター	廃棄物の資源化関連事業を行う施設のこと。 燃やさないごみ・粗大ごみ等から鉄・アルミニウム等の金属、ガラスカレット、生きびん等を回収し、資源化を行います。また、不用品の補修、再生品の展示または保管等も行います。
	リサイクルプラザ	リサイクルセンターの中で、不用品の補修機能、環境学習等の循環型社会形成のための啓発活動を行うための機能を有する場のことを言います。